

山行報告書

山行管理部

ターブルドート 長坂山 赤目四十八滝 8月9日

CL 松本光一 SL 岩佐、飯塚 参加者 18名

赤目口駅 9:43ー赤目滝 10:10ー百畳岩 11:00ー登山口 11:30ー長坂山 13:30

下山口 14:07ー赤目滝 14:37

8月連休の赤目四十八滝は一般の方も観にこられ人の多い赤目四十八滝になりました。8名3班に分散し滝を楽しみ涼みながらの班、班の参加者によって違いのある山行であった。長坂山登山口からは長坂山頂上までダラダラとした急登であったが、この猛暑でも元気に登り離脱者は居ませんでした。皆さん元気です。今までの山行形式ではなく少人数で、班山行は歩きやすく人の多い所では迷惑になりにくいと感じました。
(松本光一 記)

有志山行(教育部) 沢登り(比良山系白滝谷) 8月1日(土)

参加全4名 (CL 高桑、SL 家納、松本、網)

07:00 森之宮→09:20 坊村P着→09:30 P発→10:20 入溪→12:10 白石谷分岐

→13:00 白滝→14:10 夫婦滝→16:30 P着→17:00 P発→19:00 大阪各地 無事解散

7/5 予定の沢登りは天候不良で中止にしたため、その参加希望者を中心にリベンジの思いで有志山行を計画する。コロナ禍の中、行くことも含め、種々の様子が読めない状況でしたが、緊急事態宣言は免れ、汗ばむ夏を迎え、実施した。

往路の混み具合は大阪市内の中環や、名神京都南からR161 雄琴までは渋滞で坊村の駐車場も満車間近の混み具合。昨年比で40分の遅れで坊村着。しかし、メンバーが4人なので出発までの時間は短く、入溪地もちょっと奥からにして時間を稼ぐ。

水量は多く、白滝では登攀コースが水飛沫に覆われ、ちょっとヤバいかなと思ったのでここは、左岸の巻き道を初めて登ったが、しっかりと巻き道として道が付いていた。これからのリードはこれを活用するのも有かなとも思った。

駐車場の車数の割に白滝谷の沢登りでは2組しか遭遇(実は追抜かれた)しなかった。

最期の夫婦滝の勢いも凄く、タダでマイナスイオンを存分に味わえた。

帰路はR161で少し、渋滞がありましたが順調に帰阪しました。

(高桑 記)

有志山行 東大台ヶ原とペルセウス座流星群 令和2年8月12～13日
CL 飯塚 SL 松本(光)・稲田(理) 参加8名

12日(水)東大台ヶ原ビジターセンター10:45 出発 → 尾鷲辻 11:20 → 牛石ヶ原
(昼食)11:35～12:03 → 大蛇岨 12:10 → 正木ヶ原 13:10 → 日
出ヶ岳(1,695m) 14:10～14:25 → 宿(心・湯治館)15:03 着

12日(夜) 夕食後 19:40 ⇔ 日出ヶ岳 20:10～22:20 流星観察☆ → 宿 22:55 着

13日(木)大台ヶ原駐車場 8:00 出発 → 日出ヶ岳 8:35 → 巴岳 9:40 → 川上辻
10:05 → 名古屋岳 10:28 → 如来月 11:04 → 三津河落山 (1,654m)
11:20 → 大和岳 (昼食) 11:47～12:20 → 三津河落山 12:35 →
川上辻 13:23 → 大台ヶ原駐車場 13:50 着

台風の間でもあり日本最多雨地帯の大台ですが、幸運好天に恵まれ、大蛇岨・正
木峠・日出ヶ岳・三津河落山等々の大台ヶ原ならではの雄大な景色を満喫し、夜に
は都心から3時間余りの地とは思えないほど、圧巻の星空☆&流れ星を見る願いが
叶いました。

初めての有志参加となった新人会員さんに「ただ楽しいだけで無く、学ぶ事も反
省点も多かった。」との感想を頂けたことが大変嬉しく、また同様に先輩会員達も
自身が新人だった頃の初心に戻って考え行動し、得ることも多く、新旧交え幅広い
年代ながら皆仲良く山行に臨めた故の結果で、とても意義のある2日間だったよう
に思います。(飯塚 記)

有志山行 梅花藻見学 8月18日 CL 宇野 参加11名

霊仙からの清流は地蔵川に分水し、通年14、15度を保ち、ハリヨン(魚)、梅花
藻を育てる。早朝とあって梅花藻の開花は十分ではないが、群生して咲いていまし
た。丹生川に沿って醒ヶ井峡谷、養鱒場まで2時間ほど歩く。松尾山ハイキング道
に入り昼食。松尾寺があったらしい立派な石垣が残るだけ。下りは丁石道になって
いるが荒れ放題。下丹生に着き、来た道を引き返す。

3時頃醒ヶ井駅に到着。駅前の水呑場の清水が喉を潤してくれました。始めてい
く道は、皆で調べながら勉強になりました。

追伸 松尾寺の本尊は、醒ヶ井楼の側に移転しました。

山蛭に 我が血与し 無情の世 (宇野 記)